

機械器具 58 整形用機械器具
管理医療機器 電動式歯科用インプラント手術器具 70965002
(歯科用インプラント手術器具 70965001)

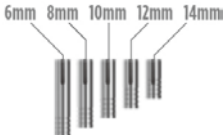
LODIサージカルドリル

【禁忌・禁止】

1. 指定した製品以外との併用はしないこと。(【使用上の注意】2. 相互作用の項参照)
2. 本品の材質に対するアレルギーを有する患者には適用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本品の構成品の形状、構造は以下のとおり。

製品名	外観
LODI パイロットドリル (表示径: 1.2mm)	
LODI ドリル (表示径: 1.6mm, 1.8mm, 2.1mm, 2.4mm, 2.6mm)	
LODI ドリルエクステンダー	
LODI ラッチドライバー	
LODI ロータリーティッシュパンチ	
LODI トルクラチェットレンチ	
LODI ディレクションインジケータ	
LODI ドライバー	
LODI ドリルストップキット	

原材料:

ステンレス、チタン合金 (トレイは樹脂製)

原理:

歯肉、骨等の切削、切除、穿孔等により、顎骨にフィクスチャ埋入窩を形成する。

【使用目的又は効果】

本品は、能動機器に接続して歯科用インプラントの埋入のための外科手術において組織又は骨の穿孔の際に用いる。利便性を向上させるために手術時に使用する機器をあらかじめ組み合わせた。

【使用方法等】

- (1) 患者の適切な臨床評価に基づき、使用部位に適応した本品を選択する。使用前に、必ず異常がないことを確認する。
- (2) パイロットドリルを歯科用ハンドピースに取り付け、必要に応じサージカルガイドを設置した後、パイロットドリルで歯肉及び歯槽骨を適切な深さまでドリリングする。奨励ドリル回転数: 800~1200rpm
- (3) ロータリーティッシュパンチでフィクスチャ埋入予定部位の歯肉を除去する。
- (4) ディレクションインジケータで穿孔角度を確認し、サイズが異なる複数のドリルで顎骨を徐々に穿孔してフィクスチャ埋入窩を形成する。奨励ドリル回転数: 800~1200rpm
- (5) ラッチドライバーで、別途用意されたフィクスチャを滅菌包装から取り出し、所定の位置まで埋入する。
- (6) トルクラチェットレンチに取り付けたドライバーで、締め付けトルクを確認しながらフィクスチャを適切な深さまで完全に埋入する。本品と併用する歯科用ハンドピースには、JIS T 5907適合のラッチタイプを使用する。

〈使用方法に関連する使用上の注意〉

- (1) 使用時は必ず注水を行い、骨及びドリルの加熱を防ぐこと。
- (2) 硬い骨の形成する場合に、無理な力を加えて形成を行わないこと。
- (3) ドリルに明らかに摩擦が認められた場合はドリルを交換し、骨の穿孔時の過剰な発熱が周囲骨へ伝導しないようにすること。
- (4) ドリルエクステンダーは必ずサージカルドリルと併用し、フィクスチャの埋入トルクが大きい場合は使用しないこと。
- (5) トルクラチェットレンチの取り扱い
 - 1) 使用前には、正常に動作することおよび、最初の目盛線と矢印とが合っていることを確認すること。トルクレンチのアームがスケールの端から外れている場合は正確な測定はできないことがある。
 - 2) トルクレンチに80Ncm以上の負荷をかけないこと。
 - 3) 過負荷、落下、取り扱いに誤りがあった場合は、正常な動作が保証されないためレンチの使用を中止すること。
- (6) 器具の洗浄後は、汚れが完全に取除かれていることを確認し、汚染があれば再度洗浄を行う。器具を点検し、摩擦、破損、変色等が確認された場合は交換し、複数のパーツからなる製品は組み立てて正常な動作を確認しておくこと。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品を使用している間は、常に患者の状況を観察し、異常を認めた場合は、直ちに手術を中止し、適切な処置を取り患者の安全を確保すること。
- (2) 術前に行った正確な診査・診断に基づいた顎骨、その他のパラメータにより、当該部位に適切なドリルを選択すること。
- (3) 埋入するフィクスチャの長さ、太さに適応したドリルを選択すること。また、術前にドリルの目盛りとフィクスチャの長さとの関係をきちんと把握しておくこと。

2. 相互作用 (他の医療機器等との併用に関すること)

指定の製品以外との併用はしないこと。(専用品でないと設計・開発方針が異なるため、適合せず想定外の不具合が起こる恐れがある。)
指定の製品: JIS T 5907適合のラッチタイプ歯科用ハンドピース

3. 一般的注意

- (1) 本品は未滅菌にて供給されるため、使用前に必ず滅菌を行うこと。
- (2) 滅菌は、加熱滅菌(オートクレーブ滅菌等)を行う。
滅菌条件は飽和蒸気中132℃・5分以上、乾燥20分が推奨される。操作方法は加熱滅菌器製造者の指示に従うこと。

- (3) 加熱滅菌後の未乾燥保管は避け、使用直前(手術前日もしくは当日)に滅菌すること。
- (4) 高温での滅菌は、作動部の硬度を減じ、耐用年数を短くする恐れがあるので行わないこと。
- (5) 滅菌処理前には器具の洗浄、消毒を行うこと。
- (6) 微生物汚染による患者感染を防止するため、使用後は直ちに、洗浄、消毒し保管すること。
- (7) 超音波洗浄を行う場合は、器具の接触を避けて十分に間隔をあけるか、1本ずつガーゼ等でくみ洗浄すること。
- (8) 洗浄、消毒処理後は水で完全にすすぎ、十分乾燥のうえ保管すること。
- (9) 器具の損傷を防ぐため、洗浄および消毒処理中の器具同士の接触に気をつけること。
- (10) 汚染された器具を取扱う際は、防護手袋を使用するなど、二次汚染に注意すること。
- (11) 錆防止のため、耐食性の洗浄剤及び消毒剤を使用すること。
各器具の洗浄剤及び消毒剤の適性、使用方法、使用時間等の洗浄方法は、説明書を確認すること。
- (12) 本品はトレイごと加熱滅菌ができる。変形の恐れがあるため滅菌器の底に直に置かないこと。(必ず、ステンレスかごを使用するか、又は布・滅菌バック等で覆って滅菌すること。)
- (13) 本品を落下させるなど強い衝撃を与えない、また乱暴に使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- (1) 器具は使用後直ちに洗浄・消毒し、十分に乾燥の上、衛生面が十分保たれた容器に保管すること。
- (2) 滅菌後の未乾燥保管は劣化の原因になるので、避けること。

有効期間等

本品は使用毎に消耗・摩耗されるため、本品の耐用期間は、各製品・骨質・使用方法等により異なる。

**_{*}【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ジンヴィ・ジャパン合同会社
東京都新宿区市谷本村町1-1 住友市ヶ谷ビル2F
TEL：03-4333-9900

製造業者：Zest Anchors LLC. (アメリカ合衆国)